

地方創生の推進と巨大災害に備えるために モバイル建築の社会的備蓄

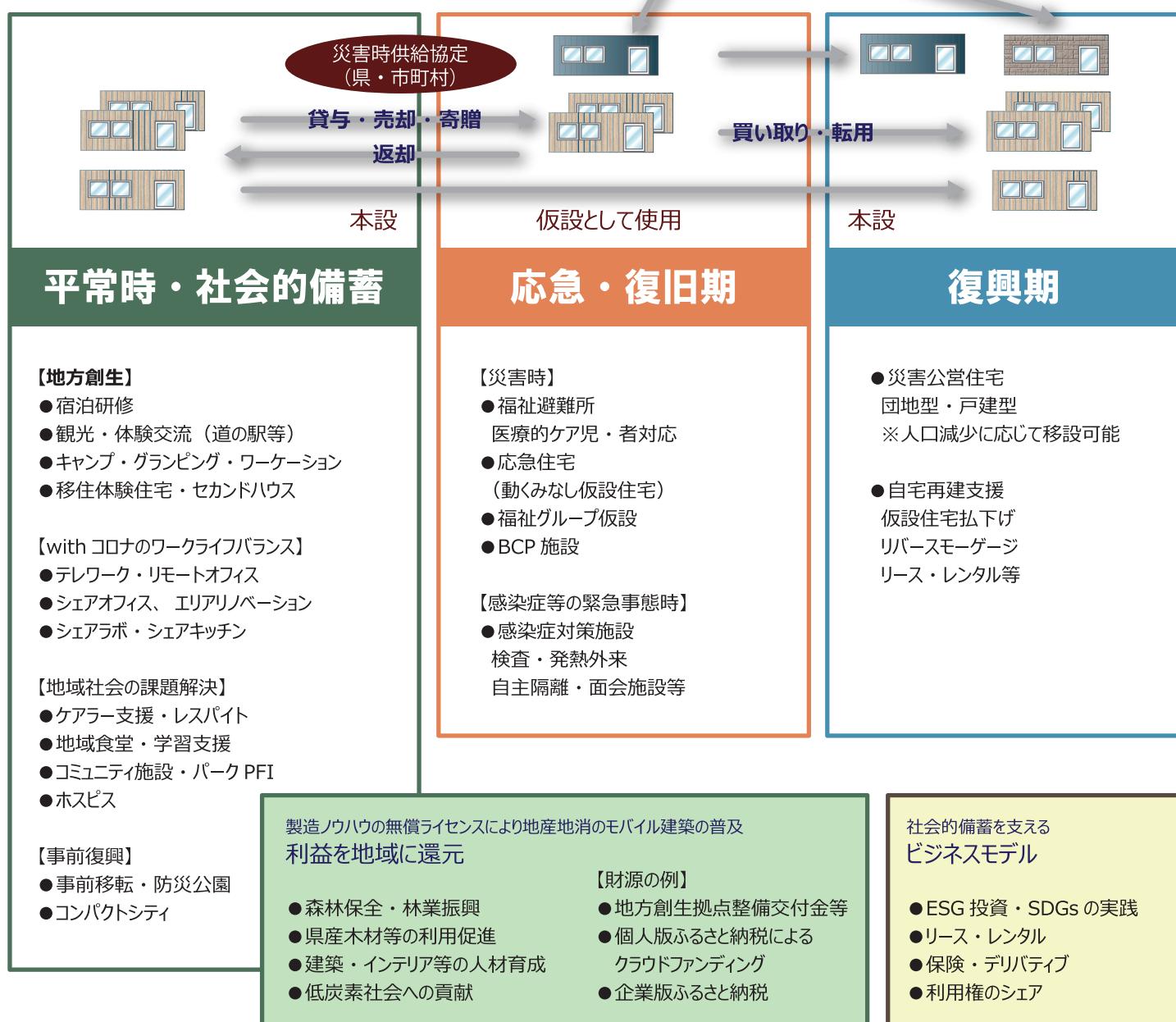
災害のための備蓄をしながら平常時には地域の施設として活用するというのが、「社会的備蓄」という考え方です。すでに各地の自治体をネットワークした取り組みが始まっています。

モバイル建築の社会的備蓄を全国に広めていくためには、自治体や事業者、そして住民にとってメリットがある持続的なしくみが必要不可欠です。

日本モバイル建築協会は、そのための様々なスキームやソーシャルなビジネスモデル、平常時利用のための運営支援システムを開発し、提供しています。



発災後に全国・海外で分散製造・輸送



日本モバイル建築協会

一般社団法人 日本モバイル建築協会
Japan Mobile Architecture Association (JMAA)
〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目12-1
info@mobakyo.or.jp

#モバ協



<https://mobakyo.or.jp/>